

7月発生の海浜、海難事故の特徴

【全体の傾向】

海水浴場がオープンし、また学校が夏休みに入るとともに気温の上昇等により、マリナーレジャーが活発化しています。これに伴い夏型の海浜事故、海難が発生しています。

○海浜事故

- ・ ビニール製ボートに乗り、付近の浜から沖に出たところ、折からの強風により帰ることができなくなった。
- ・ ビニール製ボートに乗り、海水浴場で遊んでいたところ、強風により沖合いに流されて戻ることができなくなった。
- ・ 友人と浜で飲酒後に海で泳いでいたところ溺れてしまった。

○海難事故

- ・ プレジャーボートで航行中、付近に設置されていた漁具(定置網)に気が付かず乗り揚げってしまった。
- ・ 手漕ぎボートに複数人で乗船して釣り中をし、同時に立ち上がったことによりバランスを崩して転覆し海中転落した。
- ・ 2隻のプレジャーボートが航行中に、互いに十分な見張りを行っていなかったことにより衝突した。

☆自己救命策の確保

①ライフジャケットの常時着用 ②連絡手段(携帯電話)の確保

③海の「もしも」は118番

平成25年7月1日から8月31日の間は「海の安全運動」

